

Part 2 自治体のマニュアルを手に入れる！

Part 1では水害に着目してきましたが、Part 2では各種の災害対策の冊子について紹介していきます。掲載した冊子は各ホームページからダウンロードできます。



・**透析患者災害対策マニュアル**
(東京都区部災害時透析医療ネットワーク)
http://tokyo-hd.jp/images/saigai_2010.pdf
透析患者さんむけに作成された災害対策マニュアル。
平常時、災害時の心得から薬・食事の管理について掲載。

・**家庭用防災マニュアル** (荒川区)
<http://www.city.arakawa.tokyo.jp/kurashi/bosaibohan/sonae/kateiyoubousai.html>
家庭や事業所での地震や風水害など災害時の行動についてわかりやすくまとめもの。

家庭用防災マニュアル



荒川区



・**みんなで減災** (内閣府)
<http://www.bousai.go.jp/kyoiku/keigen/gensai/gensai.html>
マンガを通じて「減災」を実践するチャンスを学んでいく。
おさらいクイズで理解度チェックもできる。

・**減災のてびき** (内閣府)
<http://www.bousai.go.jp/kyoiku/keigen/gensai/tebiki.html>
「やればできる！減災」をテーマに「今すぐできる7つの備え」を紹介。日頃の工夫をうながす内容になっています。



※各冊子の表紙画像は各ホームページより引用

<編集後記>

みなさん、いかがでしたか？
東日本大震災以降、地震に対する備えはしてきたかとは思いますが、ゲリラ豪雨や台風・竜巻・水害など、知っておくべき災害はまだたくさんあります。日頃からそれらに関する正しい知識を集めて学び、備えておきたいものです。
被害を最小限に食い止められるか否かは、自分自身の心構えひとつなのです。 T

あいわ 2015年 防災特別号
発行日 2015・10・20
発行 医療法人社団 愛和会 南千住病院
日本医療機能評価機構認定病院
〒116-0003 東京都荒川区南千住5-10-1
電話 03 (3806) 2232
ホームページを開設しています
URL : <http://www.aiwakai.or.jp/>



あいわ 防災特別号

2015
防災特別号

愛和会からの緊急時情報発信が 「ボイスボックス」から「インターネット」へ変わります！

東京湾を震源とした地震、河川の決壊による大規模な水害。災害が発生したとき、皆さんはどう対処しますか？
愛和会では、これまで災害時（緊急時）の情報発信手段として電話による「ボイスボックス」を使用してきましたが、NTTのボイスボックスサービス終了にともない、11月1日より「インターネット」の使用へと変わることになりました。
そこで、これまでとの違いや使い方について説明するとともに、愛和会施設がある荒川区の取り組みや防災に関する簡単な情報を紹介していきます。

<その1>「ボイスボックス」と「インターネット」なにが違う？

大きな違いは情報の発信が「音声」から「文字」になることです。
ボイスボックスでは流れてくる音声を注意深く聞いていないと聞き逃してしまい、再確認できるものの最初から聞き直さなくてはなりません。
ネットの場合では文字で情報が記載されるようになり、アクセスすることができれば簡単に閲覧することが可能になります。

<電話の場合>



再確認はできますが、急いだけ焦っていたりするほど、番号を間違えたり、聞き逃すことも・・・。

<インターネットの場合>



インターネットは文字なので分かりやすく、自分の好きなタイミングで情報を得ることができます。

<その2>
電話が無い場所でも
「スマホ」や「タブレット」があれば！

近年では「スマホ」や「タブレット」など、インターネットにつながる端末は増えています。

万が一、電話が無い場所でも、それらインターネットに接続できる端末があれば情報をみる事が可能な場合もあります。



★ワンポイント★

このような端末を自分で持っていない場合には、周りの人に事情を説明し、状況を調べてもらう方法もあります。

「天災は忘れたころにやってくる」「備えあれば憂いなし」
防災に対する情報を集めてみましょう！

私は先日、病院の防災対策と広報の資料集めで荒川区防災センターに防災関連の資料をいただきに行きました。

愛和会がある荒川区の地形はとても平坦で、万が一隅田川などが氾濫すると区内の広い範囲が水害に見舞われることが予想されている（あらかわ区報より）とのことでした。

ここからは、防災対策に関する情報を紹介していきます。

Part 1
水害に備える

冒頭でも書いた通り、荒川区は土地が平坦で水害が心配です。水害について、荒川区や東京都ではホームページなどを使って様々な情報を提供しています。

実際の使い方を覚えておきましょう！



1. インターネット検索サイト※1などで「南千住病院」と入力し検索する。
2. 検索結果の「南千住病院：トップページ」をクリックすると左のような画面が表示されます。
3. 中段の「病院からのお知らせ」内の「愛和会施設稼働状況について」をクリックする。
4. 別の画面が表示され、各施設の状況を確認することができます。

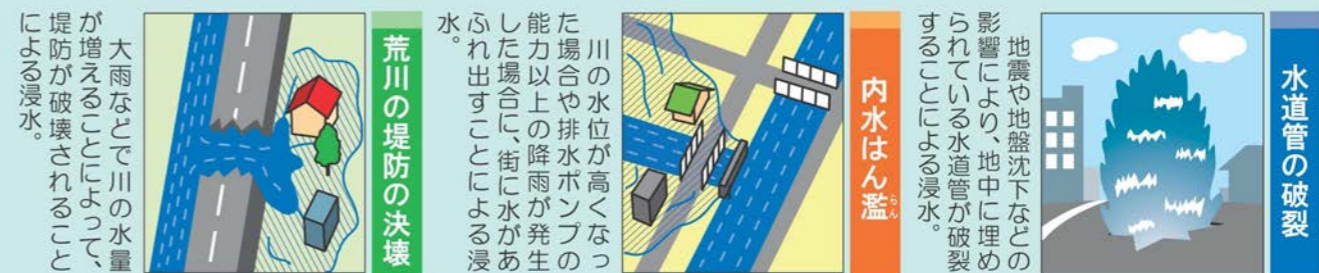
- ※1 検索サイトとはGoogleやYahoo!などのことです。
- ※2 大規模な災害時などは電話と同様にアクセスが集中すると、つながりにくくなる場合があります。

ここまで、愛和会の災害緊急時の情報発信方法の変更とその利用方法について説明してきました。新しい仕組みなので、分からない点も多いと思います。その際にはお気軽に職員までお問い合わせください。

次のページからは、自治体などが発信している災害関連の情報を紹介していきます。

荒川区で水害が起こる3つの要因

荒川区で水害が起こる要因として、次の3つが考えられます。



(画像引用：あらかわ区報より)

<関連ホームページ>

・荒川区洪水ハザードマップ
<https://www.city.arakawa.tokyo.jp/kurashi/bosaibohan/sonae/hazardmap.html>
上に掲載した図や「荒川浸水想定区域図」、「荒川区洪水ハザードマップ」などの情報を提供。

・荒川下流河川事務所
<http://www.ktr.mlit.go.jp/arage/arage00079.html>
荒川の水位・雨量のほか、ライブ映像も提供。

・東京都水防情報
<http://www.kasen-suibo.metro.tokyo.jp/>
東京都から出される水防情報を知らせる。

・東京アメッシュ
<http://tokyo-ame.jwa.or.jp/>
東京都の雨量をリアルタイムで提供。

(画像引用：あらかわ区報より)

